

## ASN Kidney Week 2022 Annual Meetingでの研究発表



目で見ると  
海外論文発表

山本彩葉\*

Presentation at ASN Kidney Week 2022 Annual Meeting

Key Words : Nephrology, Chronic Kidney Disease, Kidney Fibrosis

### <参加会議名>

American Society of Nephrology Kidney Week  
2022 Annual Meeting

<開催場所> Orlando, Florida, USA

<渡航期間>

2022年11月2日～2022年11月7日

<発表タイトル>

4-(2-Aminoethyl) Benzenesulfonyl Fluoride  
Hydrochloride (AEBSF) Reduced Kidney Fibrosis  
in Part by Targeting CREB3L1 in Myofibroblasts

この度、アメリカ合衆国フロリダ州オーランドにて開催された American Society of Nephrology Kidney Week 2022 Annual Meeting に参加し、ポスター発表を行いました。本学会は、腎臓学分野において世界最大規模の国際会議であり、今回の年次集会には対面・非対面あわせて約12,500名もの参加者が集いました。新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、3年ぶりの対面形式での開催とのことでしたが、会場は賑やかな雰囲気、至る所で活発に交流が行われていたのが印象的でした。

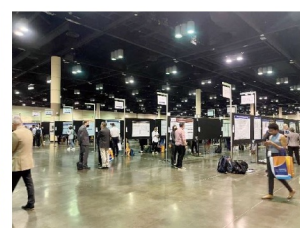
私は、慢性腎臓病の病態形成機構の解明を目指し研究を行っており、中でも、腎不全発症に関わる重要なプロセスである腎線維化に着目しています。本会議では、腎臓の筋線維芽細胞に発現する転写因子

CREB3L1が腎線維化の進展に寄与しており、化合物AEBSFによるCREB3L1の薬理的阻害が腎線維化に対する新たな治療戦略となりうることを報告しました。自身のポスター発表では、多くの研究者から質問や意見をいただき、有意義な時間を過ごすことができました。中には、実験の詳細まで熱心にディスカッションしてくださる方もおり、研究内容に興味を持ってもらえたことが大変嬉しかったです。その一方で、英語力不足を痛感する場面もあり、次の機会にはより円滑かつ活発に議論を行えるよう、語学力を向上させる必要性を感じました。また、ポスターセッションや講演の聴講を通し、最先端の研究成果に触れることができたと同時に、海外の同年代の研究者達の非常にアクティブな議論を目の当たりにし、大きな刺激を受けました。

本国際会議への参加は私にとって多くの収穫が得られた貴重な経験となりました。最後になりましたが、本学会発表にあたりご支援を賜りました生産技術振興協会に厚く御礼申し上げます。



会場の Orange County Convention Center

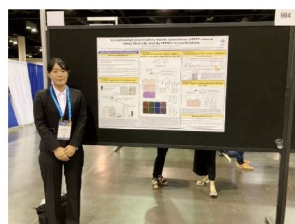


ポスター会場の様子



\* Ayaha YAMAMOTO

1994年10月生まれ  
大阪大学大学院 薬学研究科 創成薬学  
専攻 博士前期課程修了(2020年)  
現在、大阪大学大学院 薬学研究科 創成薬学専攻 臨床薬効解析学分野 博士  
後期課程3年 大学院生 修士  
専門/分子腎臓病学  
TEL : 06-6879-8163  
E-mail : yamamoto-a@phs.osaka-u.ac.jp



ポスター発表の様子



腎臓がモチーフのキャラクターとの記念撮影ブース